

# 牛の放牧で遊休農地の管理が出来ます！

西海町では、遊休農地を牛に管理させる放牧を推進しています。



荒れてしまった農地

1、農地と景観の保全  
荒れてしまった農地も牛が雑草をきれいに刈り取ってくれるので、農地とともに地域の景観保全にもなります。

## 放牧によるメリット

最近が高齢化、労働力不足等により耕作されなくなった農地（遊休農地）が年々増加しています。このような農地でも牛を放牧すると雑草は牛にとつてのごちそうとなり、牛の舌（下）草刈りで荒れていた農地がみるみる立派な農地の姿を取り戻します。また、農地は広い運動場ともなり牛も健康的に育ち、畜舎での管理と比べ畜産農家の作業も楽になります。

放牧を行っている方は西海町で繁殖牛を飼養する肉用牛農家で、近くの遊休農地を耕種農家から借り受け、妊娠を確認した成牛二頭をそこに放牧しました。写真のように荒れてしまっていた農地も一ヶ月で見事に復元され、土地を貸された所有者の方も、今回の取り組みには感心されています。



これから牛が頑張ります！

1ヶ月後



見事に農地が姿を現しました！

## 2、畜産農家の経営向上

①作業の省力化  
飼料給与時間の短縮、ボ口出し（除糞作業）等の管理作業の省力化が図られます。

## ②生産コストの低減

管理時間の短縮により労働費を抑えられ、飼料費も抑えられることで生産コストの低減につながります。

等のようなことがあり、耕種農家と畜産農家の双方にメリットがあります。

今回の放牧は西海町、JA大長崎、長崎農業改良普及センターが協力して取り組んでいます。放牧について関心をもたれた方、特に耕種農家の方で遊休農地を保全したいという方は普及センターまたは農協までご相談下さい。

## ！ 農業用施設からの油流出事故に気をつけましょう！

本年度、県内において農業用施設からの油流出事故がたびたび発生し、一部河川や水田への流れ込みにより農作物等への被害が発生しております。

事故は環境汚染につながるばかりでなく、その回収が大変困難で生態系に悪影響を与えてしまうこととなります。

一般に農業用施設で使用される油類（重油・軽油）などの取扱いは、各市町火災予防条例により「指定数量未満の危険物（少量危険物）」として貯蔵、取扱いについて定められています。適正な管理につとめましょう。